

第 4 回「活動計画を立てる」 2020 年 9 月 24 日

ふりかえりシート まとめ

【参加者】 18 人 ※スタッフ 4 人（県多文化共生課 2 人、県国際交流協会 2 人）を含まない。
 （内訳）日本語支援者 13 人（磐田市関係 5 人、菊川市関係 8 人）
 国際交流協会スタッフ 2 人（磐田国際交流協会 1 人、袋井国際交流協会 1 人）
 行政職員 3 人（磐田市 2 人、菊川市 1 人）

【回収数】 18 枚

【1】講座の内容はいかがでしたか。

	よかった				よくなかった
	5	4	3	2	1
〈集計〉	10 人	6 人	1 人	1 人	0 人

〈理由〉

- ・ポイントがわかりやすく説明してくださってわかりやすかったです。
- ・市の思いを聞くことができてよかった。
- ・話し合いがよくできました。
- ・指導者の方だけではなく参加者みんなでコースデザインを考えることができ貴重な体験でした。
- ・とても有意義でしたが、やや内容が多く、消化しきれませんでした。
- ・高山さんの土台のおかげです。
- ・どのような手法が効果的か、なぜ、このような流れ、計画をたてていくのか、一つ一つが理解できた（まだ消化できてませんが）
- ・多過ぎるように感じた。指導者養成段階で、具体的なカリキュラムを決めるのはどうなのか？ 疑問が多くあった。

【2】内容はわかりやすかったですか。

	わかりやすかった				わかりにくかった
	5	4	3	2	1
〈集計〉	10 人	3 人	4 人	1 人	0 人

〈理由〉

- ・とてもわかりやすかったです。
- ・スライドが、短い言葉でわかりやすかったです。

- ・磐田、菊川でグループをつくり具体的活動の始めに感じた。
- ・それなりの人数がいる中でのコース決めなどは、ファシリテーターが重要だと実感しました。
- ・原案があったので話し合いは進みやすかったです。
- ・コースデザイン、活動進行表、理解の浅い単語が多く、用語や、これからやることが明確に説明されなかったので終始よくわからなかった。事業そのものが、よくわからない点が多く、本講座もよくわからない部分が多かった。

●気づいたこと、感じたこと

〈磐田市関係者〉

- ・多様な人が集まってきているのでこれからが楽しみです。(足立進一郎：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・コースデザインを決めること、また一回ごとの内容をにつめていくことは、時間もかかり、たいへんだと思いました。できることは協力してゆきたいです。(渥美久美子：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・愛知県 HP に①～⑰のワークシートがある。(澤野孝光：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・マニュアルを改めて見て良くできていると思った。これに枝葉をつけて行きたい。(藤村克英：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・ベテランの方々がたくさんいたので、話し合いが盛り上がりました。もっとマニュアルを読み込んでいたら早く決めることができたのかもと、後で思いました。もう少し、時間がほしかったです。頭が疲れました。(松浦祐子：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・皆さんのパワーに感謝です。(村井智和：磐田市地域づくり応援課)
- ・特になし。(森優也：磐田市地域づくり応援課)
- ・自分が初期日本語教室へどのように関わってよいかまよふところがあり、意見のしかたがむずかしかったです。(川添裕子：(一社) 磐田国際交流協会)

〈菊川市関係者〉

- ・今までの日本語教室と今回の初期日本語教室とは中身が全くちがう物と認識しました。初期の専門家になれるよう頑張りたい。(太田光輝：菊川市国際交流協会)
- ・話し合うことが盛りだくさんで、必死でした。高山さんがしっかり準備していただいて助かりました。みなさんに確認しながらいいお手伝いをしたいです。(太田理恵)
- ・コースデザインを作るのは、学習者を想定し、考えるのはもちろんですが、開催の時期など(季節・イベント等)も考慮しながら考えなければいけないと思いました。(坂部果歩：虹の架け橋菊川小笠教室)
- ・今日のレクチャーは、自分にとって取っ付きにくいことが多くて、十分な理解ができていない点が気になりましたので、また教えていただきたいです。(鈴木耕二：菊川市国際交流協会)
- ・はじめてのことは、とてもワクワクすることだと、あらためて感じました。参加者からの声「どうしたらいいの」「まだ、分からないから…」が、何回目が変わるのが、楽しみです！(高山晃：袋井国際交流協会)
- ・他のメンバーさんたちと、交流が深まってきました。共有のためのツールがあるとよいと思います。(本多純代：袋井国際交流協会)
- ・外国人が楽しく日本語を覚えるためには⇒心の壁をなくす!! ⇒できれば友達になれること!!

初期日本語教室は日本人と外国人が相互に理解し合う物としたい。



相手の国の文化、社会、言語等、
勉強する必要性を感じます。

(松下彰：菊川市国際交流協会)

・菊川市では、全く初めての試みのため、支援者も不安なまま参加しているように感じました。
高山さん、本多さんのサポートを受けながら、10回の活動を有意義なものにしたいと思います。

(望月香：虹の架け橋菊川小笠教室)

・菊川市のメンバーに、日本語教室の概要説明をきちんとする機会がなかったので共有することができてよかった。(松下愛理：菊川市地域支援課)

〈その他、R3 モデル候補市関係者〉

・学習者のサポーターとしての参加経験がないことから見えてないところがあるという実感が
あり、一度経験してみるとまた視野が広がると思った。今度活動に活かす為、整理(経験+学び)
していく必要が自分の課題かなと思いました。(鈴木美智子：袋井国際交流協会)

●よくわからなかったこと、疑問に思ったこと

〈磐田市関係者〉

- ・具体的なことを含め沢山ある。(足立進一郎：(一社)磐田国際交流協会)
- ・各役割の詳細。(澤野孝光：(一社)磐田国際交流協会)
- ・事前情報が薄かった気がします。(村井智和：磐田市地域づくり応援課)
- ・【1】、【2】のとおり。(森優也：磐田市地域づくり応援課)

〈菊川市関係者〉

・実践は未知の世界と思って取りくみたい。とにかくやってみる。(太田光輝：菊川市国際交流協会)

・来年度以降、教室を開催する場合、支援者の方と今回のようにデザインするのかが気になります。
コーディネーターと指導者の方で決める形になるのでしょうか…？(坂部果歩：虹の架け橋
菊川小笠教室)

・わからないことはいっぱい書き切れません。でも、レクチャーは面白いので楽しみでまた来
ます。宜しくお願い致します。(鈴木耕二：菊川市国際交流協会)